

回覧

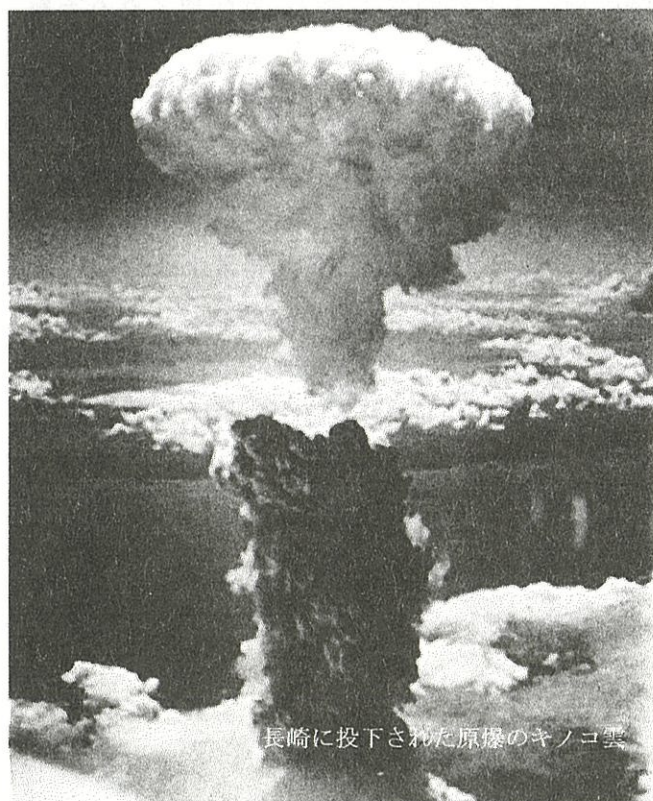
ビキニ被爆から70年、広島・長崎の被爆から79年
2024年

原爆と人間展

世界各地で紛争が起こり、核兵器の使用が現実味を帯びています。一方で、核兵器禁止条約に参加する国も増えています。核兵器は廃絶しかありません。

菊川市も平和都市宣言（下記）で核兵器の全面禁止・廃絶を求め、市議会は今年、国に核廃絶と恒久平和を求める意見書を提出しました（裏面）。

原爆と人間展では、広島・長崎・ビキニでの被爆の実態や核兵器についての写真パネル、被爆者の体験に基づいて描かれた広島の高校生の絵を展示します。



長崎に投下された原爆のキノコ雲

菊川市平和都市宣言

わが国は、核兵器による世界唯一の被爆国として、その惨禍を身をもって体験したところであり、核兵器の全面禁止・廃絶こそは、人類共通の切実な願いである。

しかるに、核兵器は増強されつづけ、地球上には人類を絶滅させるほどの大量の核兵器が蓄積・配備され、今や全人類の生存を脅かすに至り、核兵器の全面禁止・廃絶こそが、全人類にとって最も重要かつ緊急の課題となった。

菊川市は、憲法の基本理念である恒久平和を確保するため、政府によって非核三原則が遵守され、また、すべての国の核兵器の全面禁止・廃絶が、緊急に推進されることを強く要求し、ここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

平成 18(2006)年 9 月 27 日

8月1日(木)～4日(日) 午前8時15分～午後5時 中央公民館

8月5日(月)～9日(金) 午前8時15分～午後5時 市役所 1 階

主催 ◆原爆と人間展実行委員会（連絡先：山内 090-3444-9440）

後援 ◆菊川市 ◆菊川市教育委員会 ◆静岡県原水爆被害者の会

菊川市議会は、「菊川市平和都市宣言」の趣旨にもとづき、多くの市民の皆さんから寄せられた核兵器廃絶と恒久平和への熱い思いを生かすため、3月議会で下記の意見書を探択し、政府と国会に提出しました。

核兵器廃絶と世界の恒久平和へ努力することを求める意見書

ロシアによるウクライナ侵攻から2年余りが経過し、現在もなお紛争の終決が見通せない状態が続いている。更にはイスラエルの報復措置とされるハマスに対するパレスチナ自治区ガザ地区への攻撃も停戦協定締結が難航し、中東地域における更なる紛争要因の火種となっている。また、これらの紛争地域に留まらず、我が国を取り巻く東アジア周辺諸国においても、ロシア、中国の二か国はすでに核兵器を保有しているうえ、北朝鮮にあっては、核開発を完全に諦めた状態ではなく、現在も国連決議を無視してミサイルの発射実験を繰り返し行っている。このように、我々が生活する身近な地域においても、核兵器を既に保有する国や核兵器の開発を進める国による、核兵器使用が現実のものとなり得るという状況下にある。

先の大戦において、人類初の原子爆弾が広島と長崎に投下され、核兵器の脅威と悲惨さを痛感した日本国民にとって、今の状況を到底看過できるものではない。また、本年3月1日は、焼津港所属の第五福竜丸が、マーシャル諸島ビキニ環礁で水爆実験による死の灰を浴び、乗組員23人全員が被爆をした痛ましい事故から70年という節目の年でもある。

他方で、我が国が同盟関係にある国の、いわゆる核の傘に守られているという現実も否定することはできない。

このような観点から、日本政府においては、核拡散防止条約会議の場は勿論のこと、今もなお被爆の後遺症に苦しむ人々やその家族の切実な思いを全世界に伝えるために核兵器禁止条約の締約国会議にオブザーバー参加することも含め、あらゆる角度から、核兵器の脅威や悲惨さ、そして平和の尊さを訴え続けることが使命であり、責務である。

延いては、この地球上からすべての核兵器を廃絶し、そして、すべての地域の紛争を解決し、世界に平和と安定をもたらす恒久平和こそが日本国民のみならず、全世界の人々の悲願であることを念頭に、粘り強く努力していくことを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月27日

衆議院議長	額賀福志郎	殿
参議院議長	尾辻秀久	殿
内閣総理大臣	岸田文雄	殿
外務大臣	上川陽子	殿

静岡県菊川市議会
議長 山下 修